

申請要領

2013年度(平成25年度)用

国際交流基金

このプログラムは、海外の日系人日本語教育機関の教師養成のため、日系人日本語教師を国際交流基金日本語国際センターに招へいし、日本語教授法や日本語運用力の向上のための集中的な研修を行うものです。

### 1. 申請資格

海外で日系人を対象に日本語教育を行う教育機関(個人からの申請は受け付けません。)

このプログラムに申請できる者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

- (1) 候補者は申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。常勤講師を優先する。
- (2) 日本語能力試験N2(旧日本語能力試験2級)程度以上の日本語運用力を持っていること。(日本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5:認定の目安」<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>を参照。)
- (3) 2012年(平成24年)12月1日現在、日本語教授歴2年以上であること。(個人教授期間は含まない。)
- (4) 2007年(平成19年)4月から2012年(平成24年)12月1日までに国際交流基金(以下「基金」)、日本の大学等において2か月間以上継続して日本語教師研修(海外日本語教師研修 短期を含む。)を受講していないこと。
- (5) 2012年(平成24年)12月1日現在、満55歳以下であること。
- (6) 日本、又は指定国(アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、ドミニカ共和国、メキシコ、パラグアイ、ペルー、キューバ、ウルグアイ、ベネズエラ)の国籍を有し、生活の基盤が同指定国にあること。
- (7) 日本からの海外移住者又はその子孫(概ね日系3世まで)であること。
- (8) 心身ともに健康であること。

### 2. 実施時期

2014年(平成26年)1月15日(水)～3月14日(金)(予定)

### 3. 実施場所

基金日本語国際センター(埼玉県さいたま市浦和区北浦和)

## 4. 研修内容

### (1) 授業

#### ・日本語

身近な話題や単純な課題だけでなく、一般的な話題や複雑な課題、抽象的な内容についても対応できる中・上級レベルの日本語運用能力をつけることを目標とします。また、日本語を教えるのに必要な日本語の分析力を身に付けることを目指します。

#### ・日本語教授法

基礎的な日本語教授法の理論を学び確認するとともに、教授技術の向上を目指します。研修後半では、模擬授業を通して実践的な力を養うことを目指すグループと、日本語教育において指導的な役割を担うために必要な能力(専門性の高い日本語教授法理論、コースデザイン、教材開発、教師養成に関する知識等)を身につけることを目指すグループに分かれます。

### (2) 日本文化体験プログラム

地域との交流(小学校訪問等)、外国人学校の訪問、茶道・生け花・書道等のデモンストレーション、研修旅行等を通じて日本文化を体験し、日本語教育への応用を考えます。

## 5. 採用人数

12名程度

## 6. 基金日本語国際センター負担経費

基金日本語国際センターの規定に基づき以下の経費を負担します。

- (1) 居住地最寄り国際空港からの往復航空券(エコノミークラス割引運賃)、出国税及び空港利用税、研修補助費(来日中の自主研修に必要な公共交通機関の交通費及び通信費等を現物で支給)。
- (2) 基金日本語国際センター内の宿舎(シングルルーム)
- (3) 研修期間中の食事  
基金日本語国際センターは研修参加者に対し、朝食・昼食・夕食を現物又は現金で支給します。
- (4) 研修に参加するための必要経費(教材費等)
- (5) 研修参加に必要な期間中の疾病及び傷害に対する海外旅行保険の付与(補償額の上限あり。既往症や歯科治療等は当該保険の適用対象外)

## 7. 研修参加者の義務

研修参加者は以下の条件を守らねばなりません。

- (1) 日本滞在中は日本国法令を守ること。

- (2) 研修に専念し、日本滞在を他の目的(宗教的あるいは政治的目的等)に利用しないこと。
- (3) 研修参加者は、集団での研修に参加することを前提に招へいされたことを理解し、基金日本語国際センターの指示に従って、すべての研修活動に参加すること。
- (4) 原則として、研修期間の開始より前に来日しないこと。
- (5) 原則として、研修期間中に一時帰国や第三国への旅行をしないこと。
- (6) 基金日本語国際センターが滞在延長を許可した場合を除き、研修期間が終わり次第、直ちに帰国すること。
- (7) 家族を同伴しないこと。

## 8. 申請手続

- (1) 申請書は 2012年(平成24年)12月3日必着で最寄の基金海外拠点又は在外日本公館に提出して下さい。
- (2) この申請用紙は全部で7ページです。申請する際には、この申請書の原本及びそのコピー1部を、それぞれホッチキス止めの上、提出して下さい。また必ず申請者本人の控えとしてコピーを手元に残しておいて下さい。

## 9. 申請書記入上の注意

申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入して下さい。また、記入にあたっては、ほかの人の助けは借りず、自分の力だけで書いて下さい。

## 10. 選考方針

申請資格を満たしている候補者に対して、研修の(1)必要性、(2)有効性、(3)効率性の3つの観点から審査します。

(1)に関しては、当該国での日本語教授研修の重要性、また基金の日本語事業計画を実施する上での必要性等の点から評価します。

(2)は候補者個人の当該国日本語教育界におけるポジション、影響力等によって審査します。

(3)に関しては、候補者本人の日本語運用能力、教授経験、日本での学習歴、作文能力等から研修の効率性を審査します。

## 11. 申請受理通知

申請書の受理通知を希望する申請者は、はがきに返信用切手を添付の上、住所、氏名、プログラム名、受理通知を希望する旨を記載して、申請書に同封してください。基金海外拠点・在外日本公館の担当者が申請書を受領したことを証するために、署名して返送します。ただし、返信用切手が貼っていないもの、必要事項が記載されていないものは、返送しませんので、ご注意ください。

## 12. 審査・合否通知

基金日本語国際センターで審査を行い、2013年(平成25年)4月中旬に結果を各申請者に通知します。また、審査に際しては、当該国での日本語研修会や日本語教師養成等、日本語教育支援活動への取り組みが積極的な機関を優先します。

なお、採否理由等についてのお問い合わせには一切応じられませんのでご了承下さい。

## 13. 事業に関する情報の公開

- (1) 採用された場合、申請機関の名称等の情報は、基金日本語国際センター事業報告及び基金ホームページ、その他の広報資料において公表されます。
- (2) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」(平成13年法律第140号)に基づく開示請求が基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類等は、開示されます。

## 14. 個人情報の取扱い

以下の内容を、申請機関から候補者にお伝えくださるようお願いいたします。

- (1) 基金は、2005年(平成17年)4月1日に施行された「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。基金の個人情報保護への取り組みについては、以下のウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.jpfi.go.jp/j/privacy/>
- (2) 提出された申請書及び関連書類は一切返却いたしません。
- (3) 申請書に記入される連絡先に、他の基金事業についてご案内をお送りすることがあります。
- (4) 採否審査のため、申請書及び推薦書を外部有識者等に提供することがあります。
- (5) 採用された場合、研修参加者の氏名、国名、性別、所属機関、研修期間等に関する情報を研修実施案内に公表するほか、基金日本語国際センター事業報告、事業実績、ホームページ、申請要領等に公表することがあります。また統計資料を作成し基金年報、事業実績、ホームページ等に掲載するために利用します。
- (6) 事業評価及び学術研究の統計資料作成のため、採用者及び所属機関の情報を利用することがあります。
- (7) 研修実施のため、採用者の氏名、国名、性別、生年月日、自宅住所、所属機関、研修期間等に関する情報を以下の機関に提供します。
  - ・日本国外務省及び関連各在外日本公館(ビザ手配及び参加関連書類送付のため)
  - ・保険会社及びその代理店(海外旅行傷害保険加入のため)
  - ・関係各航空会社(航空券手配のため)

- ・関係自治体、文化・教育団体(各種文化プログラム実施のため)
  - ・関係国内運送会社、宿泊施設等(研修旅行等の実施のため)
- (8) 本研修に応募された方は、上記目的での個人情報の利用に同意したものとみなします。

海外日本語教師日系人研修プログラム  
申請書

NC-NJT

TRAINING PROGRAM FOR TEACHERS OF  
THE JAPANESE-LANGUAGE (FOR JAPANESE  
DESCENDANTS) APPLICATION FORM

2013 年度(平成 25 年度)用  
For Fiscal 2013-2014

国際交流基金

申請書を国際交流基金(以下「基金」という。)の海外拠点又は在外公館に提出してください。基金本部・附属機関では海外からの申請を受け付けません。また、海外拠点又は在外公館に申請する旨を事前に連絡していない場合は、申請書を提出しても無効となることがあります。インターネットやメールによる申請書の提出は受け付けません。タイプライター又はボールペンを用いて活字体で記入してください。

Applications should be submitted to the Japan Foundation office in your country, or, if the Japan Foundation has no office in your country, the nearest diplomatic mission of Japan. The Japan Foundation Headquarters in Tokyo and affiliated organizations will not accept applications from overseas applicants. It is also necessary to contact the overseas agency mentioned above to inform them of your intention to apply *in advance of submitting your application*. Applications will not be accepted through the Internet or by e-mail. This application form should either be typed or handwritten using block letters with a ball-point pen in black ink.

国際交流基金日本語国際センター所長殿

To the Director of the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa

年 月 日

Year Month Day

私は平成 25 年度海外日本語教師日系人研修に下記の者を参加させたく申請いたします。

I hereby elect the person named below to participate in the 2013-2014 Training Program for Teachers of the Japanese-Language (for Japanese Descendants).

機関名 \_\_\_\_\_ 代表者署名 \_\_\_\_\_  
Name of Institution Signature of the Representative of the Institution

代表者氏名 \_\_\_\_\_  
Name of the Representative of the Institution

候補者(以下は候補者が記入のこと。なお、申請書に記入される個人情報の利用目的については、申請要領の「\*\* 個人情報の取扱い」をご覧ください。) CANDIDATE (The following form should be filled in by the candidate. For details on the use of personal information included in the application form and attached documents, please see “\*\* Handling of Personal Information” in the Application Instructions.)

氏名 Name	漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana	姓	名				
	ローマ字 In Roman alphabet	Last Name	First Name				
	パスポートに記載の表記 Name as written on your passport in Roman alphabet						
性別 Sex	<input type="checkbox"/> 女 Female	<input type="checkbox"/> 男 Male	生年月日 Date of Birth	19 年 月 日 Year Month Day	年齢 Age	2012 年 12 月 1 日現在 As of December 1, 2012 歳	国籍 Nationality
連絡可能な住所(ローマ字) Contact Address (in Roman alphabet)							
Tel.		Fax.		E-Mail.			
		所属日本語教育機関名 Affiliated Institution	部門名 Faculty/ Department/ Program, etc.		地位 Position	常勤/非常勤 Full time or Part time	
漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana							
英語 In English							
原語 In Native Language							
所属日本語教育機関住所 Address of Affiliated Institution							
				Tel.		Fax.	

最終学歴 Last school attended	機関名 Name of institution				取得地 Location	
	取得年 Year of completion		学位 Degree conferred		専攻 Major	
学位修得論文タイトル(修士号、博士号 を取得の場合には必ず記入してください) Thesis title (Required for applicants who have obtained their Masters or Doctoral degrees)						

日本で義務教育を修了しましたか？ Did you complete your compulsory education in Japan?	<input type="checkbox"/> はい Yes	<input type="checkbox"/> いいえ No
--	------------------------------------	------------------------------------

日本語の母語話者である申請者は \* 印の欄に記入する必要はありません。  
Applicants who are native Japanese speakers need not fill in the columns with\*

*日本語学習歴 Previous Japanese language study	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook	
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
日本語教師研修受講歴 (国際交流基金での研修 及び国際協力機構での 研修を含む。) Training programs for Japanese language teachers undertaken, including the programs of the Japan Foundation and/or at the Japan International Cooperation Agency	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook	
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
日本語教授歴 Japanese language teaching experience	期間 Term	機関名 Institution	対象者 Students in class 年齢 Age	レベル Level	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				
合計 In total 年 ヶ月 Years Months					
現在の担当科目 Japanese classes currently taught	科目名 Subject Taught	対象者 Student 年齢 Age	人数 Number	担当時間数(週・年) Loading Hours_Week/Year	使用教材 Textbook
				週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	
				週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	

			週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	
			週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	
日本語以外の 担当科目 Subjects currently taught <u>aside from</u> <u>Japanese</u>			週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	
*日本語能力試験 Japanese-Language Proficiency Test		受験年 Test Year	取得級 Passing Grade	認定番号 Certificate Number
日本滞在歴 (国際交流基金での研修 及び国際協力機構での 研修を含む。) Previous stay in Japan including Programs at the Japan Foundation and/or at the Japan International Cooperation Agency	期間 Term	日数 Days	滞在目的・受けたグラント・当センター研修会 Purpose; Grant Received, Training Programs at the Institute (if any)	
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
日本語教育の分野における授業以外での活動歴 (例:開発した教材、日本語教育についての学会・セミナー発表、日本語教師会等での活動歴等) Your contribution to Japanese language education outside of the class activities (For example, teaching materials that you have developed, papers on Japanese language education that you have presented at academic conferences or seminars, your involvement in the Association of Japanese Language Teachers or other activities).		1.  2.  3.		



自分に当てはまると思う項目全てに✓をつけてください。

Please check ✓ all items that apply.

<p>聞く Listening</p>	<p><input type="checkbox"/>幅広い話題の議論や専門の講義もあまり問題なく理解できる。 I have no difficulty in understanding discussions about a wide range of topics and specialized lectures.</p> <p><input type="checkbox"/>いろいろなトピックのニュース、映画の内容がほとんど理解できる。 I can understand most movies and TV news covering a variety of topics.</p> <p><input type="checkbox"/>仕事や生活の場面でよく話題にのぼる話やテレビ番組の内容がだいたい理解できる。 I can understand most discussions on familiar matters regularly encountered in work and daily life, and the content of TV programs.</p> <p><input type="checkbox"/>自分の仕事や生活に関してよく使われることばや表現を聞いて理解できる。 I can understand phrases and expressions frequently used in relation to my work and daily life when I hear them.</p> <p><input type="checkbox"/>ゆっくり話してもらえば、自分のことや生活などに関してよく使われることばや基本なことばが理解できる。 I can recognize basic phrases and familiar words concerning myself and daily life when people speak slowly.</p>
<p>読む Reading</p>	<p><input type="checkbox"/>自分の専門に関する長い論文や複雑な小説の内容が理解できる。 I can understand the contents of complex novels and long essays related to my field of specialization.</p> <p><input type="checkbox"/>書いた人の意見や立場がわかる記事やレポート、簡単な小説が理解できる。 I can understand articles and reports in which the writers express particular attitudes or viewpoints. I can understand simple novels.</p> <p><input type="checkbox"/>身近な話題について書かれた、決まった形の文章や手紙が理解できる。 I can understand texts and letters that consist mainly of common everyday language, and which relate to familiar topics.</p> <p><input type="checkbox"/>短い、簡単な文が理解でき、必要なものや時間などの大事な情報を探すことができる。 I can understand short, simple texts. I can find important, required information such as time.</p> <p><input type="checkbox"/>メニューやウェブサイトなどを見て、よく知っているものや人の名前、簡単なことばがわかる。 When I look at material such as menus and websites, I can understand familiar items and names, as well as simple phrases.</p>
<p>話す Speaking</p>	<p><input type="checkbox"/>研究会などで専門的な話題や複雑な話題について論理的な構成で話すことができる。 At seminars and other events, I can talk about specialized subjects and complex subjects using a logical structure.</p> <p><input type="checkbox"/>関心のある内容について、くわしく説明したり意見やその理由を言うことができる。 I can present detailed descriptions and my viewpoint, and give reasons for my opinions on subjects related to my fields of interest.</p> <p><input type="checkbox"/>経験やこれからの予定、やりたいことなどを、基本的な接続のことばを使って説明することができる。 I can connect phrases in a simple way in order to describe my background, future plans and ambitions.</p> <p><input type="checkbox"/>家族や周囲の人々のこと、これまでの経験などを簡単なことばや文で説明することができる。 I can use simple phrases and sentences to describe my family and other people around me, as well as my background.</p> <p><input type="checkbox"/>自分やよく知っている人について簡単なことばで話すことができる。 I can use simple phrases to talk about myself and people I know well.</p>
<p>会話する (やりとり) Oral interaction</p>	<p><input type="checkbox"/>人間関係に配慮しながら、様々な立場の人となめらかで自然な会話や議論ができる。 I can participate in conversations and discussions smoothly and naturally with people from various walks of life, with consideration for interpersonal relations.</p> <p><input type="checkbox"/>いろいろな話題の会話に途中から入って、自分の意見を言ったり普通にやり取りができる。 I can enter unprepared into conversation on a variety of topics, presenting my own views and interacting normally with people.</p> <p><input type="checkbox"/>日常生活の様々な場面で、家族、趣味、仕事など身近な話題の会話を続けることができる。 I can sustain conversations on familiar topics relating to my family, hobbies, and work, within various social settings in daily life.</p> <p><input type="checkbox"/>自分のことや仕事などについて、簡単に具体的な情報のやりとりができる。 I can communicate simple and concrete information related to myself and my work.</p> <p><input type="checkbox"/>相手がゆっくり話してくれれば、自分のことについて簡単なやりとりができる。 When the other party speaks slowly, I can participate in simple communication about myself.</p>
<p>書く Writing</p>	<p><input type="checkbox"/>重要だと思ふ点を強調した複雑な内容を、読む人にわかりやすい構成にして、手紙や論文が書ける。 I can write letters and essays with a structure that highlights significant points, and which helps the recipient to understand complex content.</p> <p><input type="checkbox"/>興味のあるいろいろな話題について、読む人にわかりやすく、くわしく説明したり自分の意見やその理由を書くことができる。 I can write clear, detailed texts on various subjects related to my interests, explaining my views and giving reasons to support my opinions.</p> <p><input type="checkbox"/>自分の関心のある話題や旅行での経験や印象などを、短いがまとまった文章で書くことができる。 I can write short summaries on topics of personal interest, or descriptions of travel experiences and impressions.</p> <p><input type="checkbox"/>簡単な内容の伝言や、友達への短い手紙を書くことができる。 I can write simple messages and short letters to friends.</p> <p><input type="checkbox"/>誕生日や新年などの時、「おめでとう」「ありがとう」などの決まったあいさつのカードを書くことができる。 For occasions such as birthdays and the New Year, I can write cards with specific greeting messages such as "Congratulations" and "Thank you."</p>

あなたの授業の問題点や改善したい点、当センターで学びたいことについて、できるだけ具体的に、400 字ぐらいで書いてください。ワープロやコンピュータを使わないで、ボールペンを使って、手書きで書いて下さい。書くときは、参考書を見たり、他の人の助けをかりず、自分の力だけで書いて下さい。制限時間は 1 時間です。これらの規則を自分で守ってください

Reflect on your own teaching and write an essay in Japanese of around 400 characters on the problems you face in teaching Japanese and how you would like to improve them and/or what you would like to study at the Institute. If you have taken a course at the Institute before, please describe how you are using what you have studied in your teaching and what else you would like to study at the Institute. This essay should be handwritten with a ball-point pen. The use of word processors or computers is not allowed. You are strictly requested to work alone without using any references or assistance from others. The time limit is one hour.

国名 Nationality		所属機関名 Affiliated Institution	
氏名 Name			

10

20


## 申請機関の概要 Outline of the Institution

できれば機関の紹介パンフレットなどを添付してください。

Please attach some general information on your institution (introductory brochure, etc.).

<p>機関及び日本語コースの設立の経緯と歴史 History of the Institution and the Japanese Language Course</p>   
<p>日本語コースの概要(修学年限、週あたり授業時間数、学習者数等を記入して下さい。) Outline of the Japanese Language Course (state the length of the course, hours of study per week, the number of students.)</p>   
<p>学年歴(授業の開始月、修了月及び学期区分を記入して下さい。) Term / Semester (state the beginning and end of each term or semester.)</p>   

<p>学生の構成 Attributes of Students</p> <p>AかBのいずれかを選び、<input type="checkbox"/>に印を付けて下さい。 Please choose A or B and check all appropriate boxes.</p> <p>A.学校教育の場合 Formal Institutional education</p> <p><input type="checkbox"/>小学生 Primary-school students      <input type="checkbox"/>中学生・高校生 Secondary-school students      <input type="checkbox"/>大学生 University/College students</p> <p>B.学校教育以外の場合 Education other than formal institutional education</p> <p><input type="checkbox"/>年少者(小・中・高校生を含む) Children      <input type="checkbox"/>成人(大学生含む) Adults</p>
---

日本語教育スタッフ(候補者を含め全員記入して下さい) Staff of the Japanese Language Course including the candidate.

氏名 Name	地位 Position	専任・非専任 Full-time or Part-time	年齢 Age	日本語 教授年数 Experience as a Japanese language teacher	対象 者数 Number of students	週あたり 時間数 Hours per week	年時間数 Hours per year	国際交流基金 研修参加年 Year of participation in JF program, if applicable

## 海外日本語教師日系人研修参加推薦書

Training Program for Teachers of the Japanese-Language (For Japanese Descendants):  
Recommendation Form

候補者名 Name of the Candidate		
推薦者 Recommender	氏名 Name  現職 Position  所属機関 Institution	住所 Address  Tel.  Fax.
<p>1. 推薦理由(機関の責任者として、どのような方針のもとに候補者を推薦したか説明して下さい。) As the representative of the institution, please explain on what basis you are recommending the candidate.</p> <p>2. 当研修に参加した場合に、あなたの機関に期待される効果 Please explain the outcome you expect the candidate's participation in this program to have on your institution.</p> <p>推薦にあたり、候補者は私が代表を務める機関と雇用関係にあり、研修会参加後もこの関係は継続することを確約いたします。 On this recommendation, I hereby declare that the candidate is an employee of our institution, and he/she will continue to work at the institution upon his/her return to the home country.</p> <p>日付 Date _____</p> <p>署名 Signature _____</p>		

・採否審査のため、この推薦書を外部有識者等に提供することがあります。

In some cases, this recommendation form may be provided to outside consultants during the screening process.